

# 千綿っ子だより

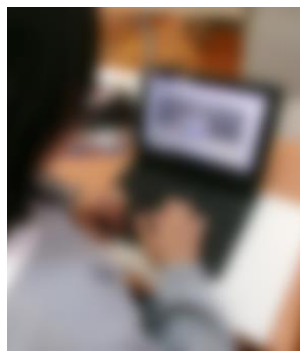
ちからを合わせて  
わらい声あふれる  
たのしい学校



## 学校の今

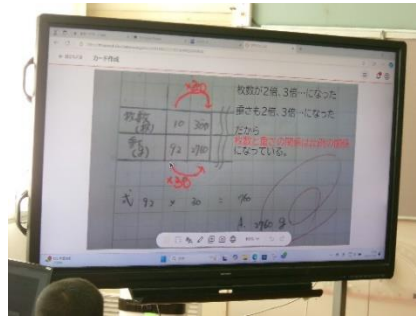
先日、テレビで廃校になった学校を活用して外国人観光者向けの体験施設を運営している方の特集を見ました。そこでは、実際に児童机に座って授業を受けたり、給食を食べたりして、日本の学校教育を体験することを売りにしているということでした。ちなみに、給食はカレーと揚げパンでした。その映像を見ながら、今の学校は昔と随分変わっているのだけれど・・・と感じたところです。

そこで、本号では、「千綿小学校の今」をお届けします。保護者の皆さん、地域の皆さん、小学生だったころと変わっているところ、同じところを比べてみてください。



算数の授業の様子です。教科書とノート、そして一人1台ずつタブレットを使って、学習をすすめています。各教室にはエアコンと空気清浄機が整備され、快適な学習環境が整っています。

黒板のとなりに、大きな電子黒板があります。子供たちの考えを即座に大きな画面に映し出して、考えを共有します。また、席を立って友達と話し合い、協働して問題解決を図っています。



トイレの洋式化、校舎の耐震化も完備。職員室では、来校者を把握し対応できるように、映像で確認しています。防犯対策も兼ねています。

このように、昔は黒板と教科書とノートで学びをすすめていましたが、今は様々な教育機器を使って自ら主体的に学ぶ授業の実現を目指しているところです。未来を生きる子供たちにとって必要な力とは何か、時代の流れとともに学校も変化しています。

そのような中でも変わらない大切なもの。右の写真のように、一人でじっくり考えること、みんなで使うところはみんなで掃除をすること、整理整頓をすることなども、千綿小学校の子供たちには、昔と変わらずしっかりと教えていきます。

